

# 海外ビジネス情報



ニューヨーク

## FOMC(連邦公開市場委員会)について

北陸銀行 国際部  
ニューヨーク駐在員事務所  
所長 馬場 正樹

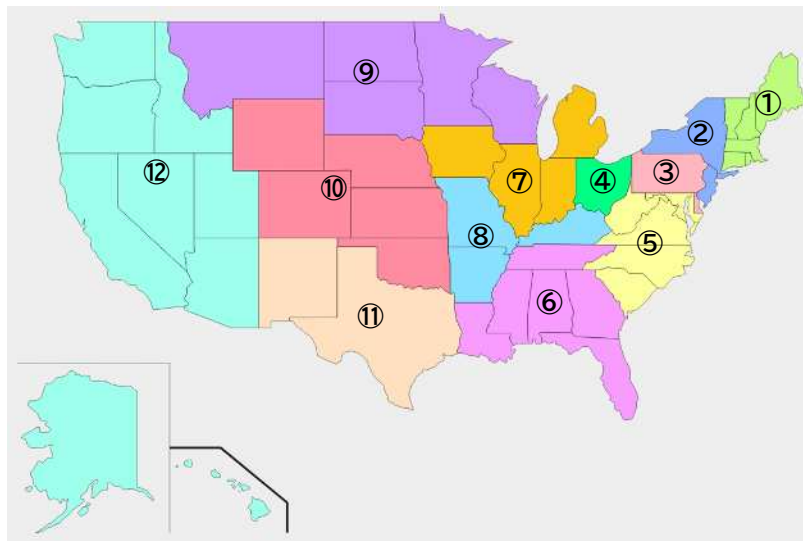
### 1. はじめに

現在、日米の金利政策が転換期を迎えており、日本が「利上げ」に向かう一方、アメリカは「利下げ」局面となり、日米金利差が縮小する見込みから一時160円を超えていた円相場が140円台に上昇しています。日本の金利政策を決定しているのは日銀ですが、アメリカではFRB（連邦準備制度理事会）が金利政策を決定しています。金利政策の中心は、「フェデラルファンドレート（FF金利）」という銀行同士の短期間の資金貸借における指標金利の操作で、この金利の上げ下げでインフレを抑制したり景気を刺激したりしますが、このFF金利の水準を決定する機関が「Federal Open Market Committee; FOMC（連邦公開市場委員会）」です。

今回はこのFOMCについて解説します。

### 2. FOMCの構成メンバー

委員会はFRBの理事7名と各地区の連邦準備銀行総裁5名で構成され、FRB議長が委員長を、NY連銀総裁が副委員長を務めます。全米には12の地区連邦準備銀行があり、副委員長となるNY連銀を除く11の地区連銀総裁のうち4名が持ち回りで委員となります。（その回で委員とならない地区連銀総裁7名も委員会には参加できますが、議決権はありません。）



#### 【参考】12の地区連邦準備銀行

- ①ボストン連銀
- ②ニューヨーク連銀
- ③フィラデルフィア連銀
- ④クリーブランド連銀
- ⑤リッチモンド連銀
- ⑥アトランタ連銀
- ⑦シカゴ連銀
- ⑧セントルイス連銀
- ⑨ミネアポリス連銀
- ⑩カンザスシティ連銀
- ⑪ダラス連銀
- ⑫サンフランシスコ連銀

### 3. 開催スケジュール

原則、6週間ごとに開催されます（年8回）が、必要に応じて追加開催もあります。2024年のスケジュールは以下の通りです。

1月	2月	3月	4月	5月	6月
30日、31日	なし	19日、20日	30日、1日		11日、12日
7月	8月	9月	10月	11月	12月
30日、31日	なし	17日、18日	なし	6日、7日	17日、18日

委員会での決定事項は、最終日の午後（東部時間の午後2時過ぎ）に発表される議長声明文で公表されます。また、議事録の要旨は委員会終了の3週間後に公表され、議論の状況が明らかになるため今後の金利政策の方向性の手がかりとなります。

なお、委員会の前々週の土曜日からFOMC終了時までの間は「ブラックアウト期間」と言われ、この期間内はFRB（米連邦準備制度理事会）の関係者が金融政策に関して踏み込んだ発言をしてはならないことになっています。

### 4. おわりに

2022年にCPIが9%台まで上昇したインフレを退治するため5.25～5.50%までFF金利を引き上げてきたFRBですが、インフレも2%台に収束し、景気や雇用も減速傾向が見える中、本格的なりセッションを予防するため、2024年9月の委員会で2020年3月以来、4年半ぶりの利下げを実施しました。

通常は直前には金利の変更幅についておおむね予測が確定するところ、今回は近年では珍しく、事前の市場予想が0.25%か0.50%かで割れた委員会となりましたが、それだけインフレと雇用の現状と先行きの見通しが難しい局面ということなのでしょう。

<ご注意> 文中意見は筆者の個人的見解であり、北陸銀行としての見解の反映ではありません。当レポートは作成時点の経済状況に基づき、情報提供のみを目的に作成したものです。記載内容については、ご利用者の判断と責任のもと、ご利用くださいますようお願いいたします。

ほくりく長城会

海外ビジネス情報

発行：北陸銀行 ほくりく長城会事務局  
〒920-0024 金沢市西念1-1-3 コンフィデンス4F  
（株）人材情報センター内  
TEL: (076)254-6500 FAX: (076)254-6565  
E-mail: info@chojo-hokugin.jp